

第 1 回 酒田市スポーツ推進審議会 資料

令和 7 年 6 月 25 日(水)

酒田市教育委員会学校教育課



これからの酒田市スポーツ・文化芸術環境！

中学校部活動改革 市民のための説明会

部活動改革に係る国・県・市の方向性と先行事例
～ スポーツ庁・文化庁『部活動改革に関する実行会議』
中間とりまとめ（R7年4月）を受けて… ～

令和8年度からの改革実行期間における、部活動改革の将来像や先進地区の先行事例について具体的に説明します。酒田市の改革が子どもたちにとってよりよいものになるよう、市民の皆様のご理解とご協力を心から願って開催します。

<日時>

令和7年4月29日(火) 昭和の日
午後1時～3時

<場所>

酒田市公益研修センター
公益ホール

酒田市飯森山3丁目5-1

<講師>

石塚 大輔 氏

スポーツ庁部活動改革実行会議委員
山形県部活動改革アドバイザー
(株)スポーツデータバンク代表取締役

<行政説明>

山形県教育局学校体育保健課
酒田市教育委員会学校教育課

お問い合わせ

酒田市教育委員会学校教育課

(担当:小林・高橋)

TEL.0234-26-5775 FAX.0234-23-2257

〒998-8540 酒田市本町2-2-45 e-mail: gakkyo@city.sakata.lg.jp

入場無料！

定員500名！

申し込み



<https://forms.gle/NTqBTWaKcCJRMv397>

日程

12:30～ 受付

(1) 13:00～13:05

開会行事

(2) 13:05～14:25

説明①(80分)

(3) 14:25～14:40

説明②(15分)

(4) 14:40～14:55

質疑応答

(5) 14:55～15:00

閉会行事



- 1 酒田市としてのビジョンについて
 - ① 計画・課題・市民に考えてほしいこと、等の説明
- 2 文化部について
 - ① 練習場所の確保
 - ② 楽器運搬の費用等
- 3 学校校舎利用時のセキュリティについて
- 4 その他
 - ① 練習試合の交渉等はだれが行うのか
 - ② 地域クラブの学校施設の優先的利用について
 - ③ スポーツ施設増設について
 - ④ 校舎施設の民間による管理は可能か

<「市民のための説明会」より>



令和7年度 部活動改革体制整備事業

SUPPORTER SEMINAR 2025 part 1

木の上に立って見ましょう！

～子どもの「自立」を引き出すコーチング～

5・24(土)

☆ コーチング実技

13:00～14:20

酒田市立第二中学校グランド

雨天時:第二中学校体育館

(協力:酒田市中学校サッカー部員)

☆ 講演会

15:00～17:30

酒田市立第二中学校体育館

奮ってご参加ください！

阿久根 謙司 氏

(埼玉県出身)

元東京ガス野球部監督

元FC東京社長

東京ガス星光会会長補佐

○早稲田実業高校卒業

野球部で甲子園2度出場

○早稲田大学商学部卒業

野球部主将、日米野球日

本代表、東京六大学野球

ベストナインに2度選出

○東京ガス株式会社入社

東京ガス硬式野球部監督

○さいたま市

コーチング研修講師

○昨年度の酒田市

サポーター

セミナー講師

「自主性」の育て方

～「teaching」から「coaching」へ！～

「高い自発性からは、創造性・積極性・個性・多様性等が発揮される」「指導者の管理態度とは、子どもの話に根気よく耳を傾け、気持ちを理解し、否定せずに最後まで聴くこと」と講師の阿久根氏は言う。

子どもの成長にかかわるサポーターとして酒田の子どもたちの自主性を育むためのコーチングを共に学びましょう。

セミナーは2部構成ですが、どちら一つへの参加も可です。申し込みは2次元コードかURLからお願いします！電話も可



<https://forms.gle/Wy92LG5BvPvr7t1a9>

酒田市教育委員会学校教育課
部活動改革体制整備担当

TEL.0234-26-5775

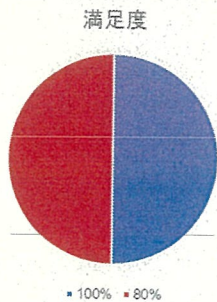
FAX.0234-23-2257

〒998-8540 酒田市本町2-2-45 e-mail: gakkyo@city.sakata.lg.jp

対象 サポーター・部活動指導員・外部指導者
クラブ指導員・協会連盟関係者・保護者
教員 他、関心のある方(18歳以上)

令和7年度 第1回サポーターセミナー アンケート結果

①第1回サポーターセミナーの満足度は何%でしたか？



②①の%を選んだ理由をお聞かせください。

- ・ 楽しく学ぶことができました。
- ・ 阿久根謙司さんの講演が、とても面白く、興味深く、勉強になったから。
- ・ 自分が悩んでいることと合致したから
- ・ 様々、勉強させていただけたことと自分のコーチングに自信を持つことが出来たから。
- ・ 今、自分に足りないものを学ぶことができたから
- ・ 方法論の一つを知ることができたので。
- ・ 以前にコーチングを学びましたが、再度、学びなおす機会になったので良かった

④今後、セミナーとして聞きたい内容について教えてください。

- ・ 「スポーツの力」について聞きたい。スポーツでどんな力が身につくのか、スポーツの価値など。
- ・ コーチングに似ていますが、メンタルケアなどを聞いてみたいです
- ・ メンタルケアについても聞いてみたいです

⑤感想をお聞かせください。

- ・ この研修を、たくさんの教職員、外部指導者にも聞いてほしいです。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 指導の方法、コーチングについて見直す機会になりました。ありがとうございました。
- ・ とても勉強になりました。こういった機会があることによって自分を振り返る機会にも繋がると思いました。ありがとうございました。
- ・ とてもいい研修でした。参加者が少なくもったいないと感じました。この研修を市内の教職員の全体研修で行えば、子供へのコーチングの輪が広がると思いました。一部の人だけ研修しても、なかなか現場には広がらないのが悩みです。
- ・ 学びなおしの機会になって大変良かった。次回のセミナーも参加したいです

令和7年度 第1回 酒田市中学校部活動改革推進協議会

令和7年 6月 2日(月) 14:30～16:30
第1・2委員会室 進行:学校教育課長

本市における生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築及び教員の働き方改革の推進の両立を目的とした部活動改革を推進するため、酒田市中学校部活動改革推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。
酒田市中学校部活動改革推進協議会設置要綱(設置)第1条より

委嘱状手交

教育長

1 開会

教育次長

2 あいさつ

教育長

3 委員の紹介

事務局

4 協議会会長の選出・副会長の指名

事務局

5 報告

事務局

(1) 酒田市の中学校の現状、及び地域展開進捗状況

(2) 令和7年度の重点

(3) 質疑応答

6 協議

議長:協議会会長

- ・ ワークショップ形式で行います。グループは別紙のとおりです。
- ・ コーディネーターと発表者は、事務局員が務めます。
- ・ (2)で出された意見をまとめ、(3)でグループごとに報告します。
- ・ (4)の総括は、石塚アドバイザーにお願いします。

(1) 事務局からの説明

15:00～15:05

(2) 令和7年度地域展開に向けての意見交換

15:05～15:50(45分間)

(3) グループごとの報告(1グループ 4分以内)

15:50～16:10

(4) 総括

16:10～16:20

7 諸連絡

- ・ 第2回推進協議会について 他

8 閉会

教育次長

酒田市中学校部活動改革推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 本市における生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築及び教員の働き方改革の推進の両立を目的とした部活動改革を推進するため、酒田市中学校部活動改革推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 中学校における部活動の地域連携・地域展開に向けた持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築に関すること
- (2) 地域の運営団体又は実施主体による地域スポーツクラブ活動及び地域文化クラブ活動(以下「地域クラブ活動」という。)に関すること
- (3) 地域の指導者等の活用に関すること
- (4) 「酒田市中学校部活動改革について(地域クラブ活動推進計画)」の審議並びに進捗状況の点検及び評価に関すること
- (5) その他協議会が特に必要と認める事項

(構成等)

第3条 協議会委員(以下「委員」という。)は、おおむね20人の範囲で、次に掲げる者のうちから酒田市教育局(以下「教育局」という。)が委嘱する。

- (1) スポーツ・文化芸術団体関係者
- (2) クラブ関係者
- (3) 中学校関係者
- (4) 保護者
- (5) その他教育局が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は1年とし、4月1日から3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、会長は委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、会長が選出される前に開催される会議は、教育局が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければこれを開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、関係者に会議への出席を求め、意見を聞き、並びに必要な資料の提出及び説明を求めることができる。

(謝金等)

第7条 委員が会議に出席した場合は、予算の定めるところにより、謝金及び費用弁償を支給する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、学校教育課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、この告示の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、令和7年4月1日から施行する。

令和7年度 酒田市中中学校部活動改革推進協議会 委員名簿

No	区 分	団 体 名	氏 名	備 考
1	スポーツ団体	酒田市スポーツ協会	齋 藤 隆	会長
2		酒田市スポーツ振興会	杉 山 道 弘	副会長
3		酒田市スポーツ少年団本部	齋 藤 勉	本部長
4	文化芸術団体	酒田市芸術文化協会	村 上 幸太郎	会長
5	総合型地域	希望ヶ丘体育文化振興会	樋 浦 紗 季	指導者
6	スポーツ	きらり川南スポーツクラブ	加 藤 雅 広	マネージャー
7	クラブ	ひらた目ん玉スポーツクラブ	丸 山 清	会長
8	学校関係者	酒田市中中学校長会	佐 藤 英 喜	校長会長
9		飽海地区中学校体育連盟	小 林 千 里	事務局長
10		飽海地区中学校文化連盟	中 村 恵 子	事務局長
11	保護者	一中保護者代表	小 野 弘 志	
12		二中保護者代表	加 藤 夕 佳	
13		三中保護者代表	齋 藤 佳代子	
14		四中保護者代表	天 野 岳 人	
15		六中保護者代表	齋 藤 将 人	
16		鳥海八幡中保護者代表	荒 生 真央里	
17		東部中保護者代表	田中井 祐 一	
18	有識者	山形県部活動改革アドバイザー	石 塚 大 輔	アドバイザー

令和7年度 酒田市中学校部活動改革推進協議会委員会 名簿

<市関係課>

N0	課 ・ 役 職	氏 名	備 考
1	酒田市教育委員会 教育長	赤 坂 宜 紀	
2	教育次長	堀 賀 泉	
3	企画管理課 課長	斎 藤 正 人	
4	スポーツ振興課 課長	樋 渡 隆	
5	社会教育課 課長	前 田 聡 子	
6	文化政策課 課長	大 井 庄 栄	

<事務局> 学校教育課

N0	課 ・ 役 職	氏 名	備 考
1	学校教育課 課長	今 井 綾 子	事務局長
2	指導主幹	佐 藤 好 博	事務局
3	課長補佐	遠 藤 理 恵	事務局
4	指導主事	小 林 大 樹	事務局
5	指導主事	櫻 井 智 洋	事務局
6	調整主任	斎 藤 則 子	事務局
7	部活動改革総括コーディネーター	高 橋 健	事務局



進捗状況（令和7年度）

6月25日現在

総 数	運動部（含：準部扱い）	文化部
103	83（準部15）	20（休日活動9）
地域展開したクラブ数 【展開率】	42（準部15） 【50.6%】	1 【11%】

各年度の重点

令和5年度

重点1：移行目的の理解促進
重点2：人材発掘・育成
重点3：組織確立・物的環境整備

令和6年度

重点1：受け皿となるクラブの設立
重点2：人材発掘・育成
重点3：クラブ支援

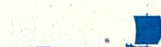
令和7年度

重点1：受け皿となるクラブの設立
重点2：人材発掘・育成
重点3：クラブの広域化

地域展開形態（受け皿）

第一中学校区 → 希望ヶ丘体育文化振興会
第四中学校区 → きらり川南スポーツクラブ
東部中学校区 → ひらた目ん玉スポーツクラブ
第二中学校区 → 酒田二中クラブ振興会
第三中学校区 → 酒田三中クラブ振興会
第六中学校区 → 酒田六中クラブ振興会
鳥海八幡中学校区 → 鳥海八幡ジュニアクラブ（仮称）

二三六
スポーツ文化
クラブ（仮称）



6

酒田市中中学校部活動改革推進協議会 第1回説明資料



成 果

- 1 サポーター・バンクの立ち上げ、セミナーの開催
- 2 地域クラブ化の進捗
- 3 保護者・指導者の意識・関心の高まり
- 4 教員の超過勤務の減少



7

課 題

- 1 指導者の発掘・育成
- 2 活動場所の確保
- 3 受益者負担に対する理解
- 4 事務処理の簡略化(運営体制)
- 5 持続可能性



8

酒田市教育委員会の方針

(5) 令和7年度の重点

- 重点1：受け皿となるクラブの設立・支援**
重点2：人材発掘・育成
重点3：クラブの広域化

重点1：受け皿となるクラブの設立・支援

運営主体（受け皿）となり得る団体・組織の確立
 受け皿となるクラブとの定期的・計画的な「ヒアリング」の実施
 スポーツ団体、文化芸術団体等との協議・依頼
 管理システムの実証

重点2：人材発掘・育成

酒田市「スポーツ・文化サポーターバンク」の募集・運営・登録
 「サポーター・セミナー（5月・11月）」の開催
 スポーツ団体、文化芸術団体等との協議・依頼

重点3：クラブの広域化（連携・統合）

近隣中学校・他校・他学区との連携
 遊佐町・他市町村との連携・協力体制づくり



9